

社会学委員会 東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会
(第24期・第10回) 議事要旨

1. 日時 2020年1月20日(月) 10時00分～12時10分

2. 会場 日本学術会議 5-B会議室

3. 出席者:

吉原直樹、岩井紀子、山下祐介、町村敬志、玉野和志、岩渕明、増田聡、山川充夫、青柳みどり(欠席:島菌進)

1. 第9回議事録の確認

2. 提言としてのとりまとめの方向性について

1) 8月開催のシンポ時の振り返り(町村:「解題」にもとづいて)

2) [提言]の方向性について(資料:[提言要旨])

*本日の議論および資料に従い、1月27日中に各自の分担について原稿作成し幹事に送付。

*以降のスケジュールは以下の通りとなった。

1月27日(月) 原稿送付

1月30日(木) 社会学委員会提出

3. 提言の内容について

1) [町村解題]の図を基本に全体をまとめる。

2) 「町村解題」の背景を説明する図として、[Geels2004]図を用いる。

3) 半ページ程度(分量制限はしない)の分担執筆をもとに、全体をまとめる。

4) アーカイブ、モニタリングを巡る様々な論点をまとめ、第二期復興庁のあり方についての議論につなげる。

5) アーカイブ、モニタリングの一つの結果として[白書]という具体的な形を示すことも一つの結論になるかもしれない。

3. 次回について

年度が改まった4月中～下旬にあらためて日程調整(学術会議)し、分科会開催を予定。